

MICHI

—令和4年度活動報告—



栃木県歯科衛生士会

歯科衛生士憲章

私たちは、職業の重要性と社会的使命を強く自覚し、ここに歯科衛生士憲章を制定し、その実践を期するものである。

1. 私たちは国民の歯科衛生を担う者として誇りと責任をもって、社会に貢献する。
1. 私たちは常に地域住民の立場を理解し誠実に業務を遂行する。
1. 私たちは社会の信頼に応えるよう常に人格の形成、知識及び技術の向上に努める。
1. 私たちは関係諸法令を遵守し歯科保健医療の向上に寄与する。
1. 私たちは常に歯科衛生士業務発展のため相互の融和と団結に努める。

公益社団法人 日本歯科衛生士会

- ・この憲章は、昭和56年本会創立30周年の記念に起草された。

目 次

1. ご挨拶		
栃木県歯科衛生士会会長	中 村 美智子	1
(一社)栃木県歯科医師会会長	大 野 克 夫	2
2. 令和4年度 研修会		3
3. 栃木県歯科医学会発表		6
4. 令和4年度 情報交換会		7
5. 受賞者報告		8
6. 講習会受講報告		9
7. リレーエッセイ DHのひとりごと		12
8. 地域歯科保健指導委任状授与者		13
9. 地域歯科保健事業の報告		14
10. 栃木県歯科衛生士会支部紹介		15
支部長会		15
県北支部 / 芳賀支部		16
宇都宮支部 / 日光支部		17
鹿沼支部 / 下都賀支部		18
小山支部 / 足利・佐野支部		19
11. 栃木県歯科衛生士会 令和5年度役員 災害担当・問い合わせ		20
12. ご案内・編集後記		21



ご挨拶

栃木県歯科衛生士会

会長 中村 美智子

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の運営ならびに事業活動にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。また、栃木県歯科医師会をはじめ郡市歯科医師会、行政及び関係諸団体の皆様におかれましても格別のご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

今年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行しまして、事業活動を行いやすくなってまいりました今日この頃でございます。定点あたりの感染者数の状況などを見極め、手洗いや効果的なマスクの着用など基本的な感染対策に注意しながら様々な動きに適宜対応し、積極的に活動していきたいと思っております。

6月に閣議決定されました骨太の方針2023では、全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積・活用と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診に向けた取り組みの推進、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療機関・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士等の人材確保の必要性を踏まえた対応について記されました。私たち歯科衛生士の役割がより重要で必要とされていることを改めて感じ、身が引き締まる思いがいたします。

最新情報が自由に飛び交う中で、更新されていく正しい情報や技術を習得し実践していくためには、卒後の継続した学びが必須です。この学びの場を提供すること、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために、歯科衛生士養成校での授業がリモートになったり、臨地実習が制限された状況で行われたりしたまま卒業された方々の不安をサポートすることも本会の重要な任務であります。

ここに令和4年度活動報告をさせていただきます。本会では、生涯を通じた歯・口腔の健康の維持増進を支援する専門職の団体として、資質の向上に努めております。未入会歯科衛生士の方々に本会の事業活動を知っていただき、一緒に研鑽を積んで県民の歯・口腔の健康づくりを支援していく仲間が増えることを望んでおります。是非とも、皆様のお近くにいらっしゃる歯科衛生士の方々にお声がけをしていただき、栃木県歯科衛生士会への入会を勧めていただけますようお願い申し上げます。

皆様のご要望にお応えできる歯科衛生士会を目指して参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



ご 挨拶

(一社) 栃木県歯科医師会

会 長 大 野 克 夫

栃木県歯科衛生士会の皆様には、本会の会務に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。ごぞいます。

新型コロナウイルスによるパンデミックの影響で、会務も様々な活動が制限されてきました。本年5月に感染症法上の位置付けが5類感染症になったことから、7月には4年振りに「栃歯・栃技・栃衛連絡協議会」を開催致しました。そこでは3団体の役員が顔を合わせ、今後の栃木県の歯科界の展望や協力体制について、活発な意見交換が行われました。

歯科衛生士会からのご意見として、今後の事業活動や更には会の発展のためにも、会員の増加とそれに伴う組織力の強化は喫緊の課題であると伺いました。県民への歯科保健活動の充実は共通の課題です。未入会歯科衛生士の方々に歯科衛生士会の事業活動を広く周知するために、歯科医師会としても全面的に協力させて頂きたいと思っております。会員の医療機関に勤務している歯科衛生士の方々への情報伝達の手段として、歯科医師会会報誌の誌面を提供させて頂きたいとも考えております。

ところで今期には、10年以上前に施行されました「栃木県民の歯および口腔の健康づくり推進条例」の改正を目指しております。条例施行後現在までの間に、社会情勢も大きく変化してきました。特に東日本大震災や新型コロナウイルス感染症を経験し、歯科界の果たす役割の重要性が再認識されました。これらの未曾有の緊急事態に対する歯科界の活動の法的根拠を、この条例で示したいと考えております。また、「国民皆歯科健診制度」が国の経済財政運営の指針である「骨太の方針」に明記された事を受け、全ての年代で歯科健診が受けられる環境づくりを目指します。一方、8020運動に代わる啓発活動としてオーラルフレイル対策が注目されております。この文言も盛り込み、将来的に実効性のある条例改正を目指していきます。

県民への生涯を通じた歯科保健活動のみならず、高齢者、障害者、有病者等に対する「専門的口腔ケア」、今後起こり得る緊急事態などでも歯科衛生士会との協力体制は必要不可欠であると考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

最後に、歯科衛生士会の一層のご発展とご活躍を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年度 研修会

第1回生涯研修会

日時 令和4年7月13日（水）9時から7月17日（日）24時まで
開催方法 オンデマンド
講演時間 60分
演題 『診療所や施設で活用する
摂食嚥下リハビリテーションの基本的視点』
講師 足利赤十字病院 リハビリテーション科 寺中 智先生
参加人数 89名（会員86名 非会員3名）



受講者の感想

- * 寺中智先生のご講演ありがとうございました。口腔機能低下症についての検査方法や間接訓練法など分かり易い内容でした。施設への訪問の際にミールラウンドを行なっています。施設スタッフ様、利用者様の助言や指導に繋げて行きたいと思います。
- * 超高齢化社会を迎えるなか、これからの歯科医療は患者さんが来てくれるのではなく、歯科医院へ来れない患者さんのところや、施設・病院など、治療だけではなく、口腔ケアや、口腔衛生管理など、口腔機能低下症を予防することは大切だと思いました。食べることは生きることにつながり、口から全身疾患を予防できることにつながると思いました。
- * 高齢者肺炎の多くは誤嚥性肺炎であるが、予後を左右する因子の1つに栄養状態があるため、摂食嚥下機能の評価が重要だということが、理解できました。
嚥下造影検査（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）など、摂食嚥下機能を評価する方法は複数あるが、日常の食事介助から、病変に気付くことが必要であると分かりました。
- * 当院は、糖尿病専門の病院で歯科があり、患者様は年配の方が多いです。糖尿病をコントロールするのに食べることもとても大切になってきます。
治療をしていく中で、口腔機能低下症の知識がほとんどなく、いろいろ迷っていました。口が乾くという方も多く、検査の仕方、こちらの研修で教えていただきましたので取り入れてみたいと思います。口から唾液が流れてくるようになったとおっしゃる患者様もいらっしゃいます。口唇 頬 顎の運動訓練やブローイングも試してみようと思います。
- * 食事観察のポイントの動画をたくさん見せて頂けて、とても興味深いお話でした。
普段の食事の様子から得られる情報が多いので、観察力をしっかり磨いていきたいと思います。
- * 普段摂食・嚥下について携わる事がほとんどなく、あまり知識もありませんでした。ですが、寺中先生のお話で食事時の観察時のポイントやいくつかの間接訓練方法などを学びました。今後詳しい所も少しずつ学んでいきたいと思うのと、家族や友人の食事を観察して普段から見る習慣を付けたいと思います。ありがとうございました。
- * 一生涯出来る限り健全に全うするにあたり、平均寿命と健康寿命の差を縮めることが不可欠です。歯科においても2つの寿命の差を小さくするために、今後他科の健診と同様に重要と認識してもらえよう口腔から考えるフレイル予防とリハビリテーションの診療所等での取り組みもさらに浸透させていく必要があると思いました。

第2回生涯研修会

日 時 令和4年10月19日（水）9時から10月23日（日）24時まで
開催方法 オンデマンド
講演時間 60分
演 題 『周術期等の口腔機能管理
～周術期に行う口腔機能管理の実際～』
講 師 宇都宮歯科医師会 しのぎ歯科医院 篠崎 泰久先生
参加人数 88名（会員86名 非会員2名）



受講者の感想

- *現在、勤務先で担当しておりました患者さんが昨年癌を発症され化学療法を受けております。体調を伺いながら定期的に口腔ケアをしております。口腔乾燥における保湿方法、味覚障害や低栄養についてはあまりに身近な問題で大変参考になりました。患者様やご家族に寄り添いながら、最良のケアが出来るよう講義で学び得た知識を活かして努めて参りたいとおもいます。
- *がん患者の周術期口腔内合併症によるQOLの低下から、生きる喜びの喪失やフレイルサイクルに陥ることのないように、歯科衛生士の周術期の知識の習得が必要。化学療法、放射線療法における口腔内合併症への対応は、口腔粘膜炎や口腔乾燥症、味覚障害への対処療法が主であり、保湿や唾液の重要性を再確認した。
- *周術期における口腔内合併症が多くあり、併発する場合があることに驚きました。口腔内合併症で口腔乾燥があるときに、含嗽剤・保湿剤の使用法はとても参考になります。今回の研修にて、がん患者に対しての具体的なアプローチ法を再確認できたので、院内研修にてアピールしていこうと考えています。化学療法や放射線療法で口腔内に出る有害事象は、摂食にも大いに影響するので、しっかりとした対処療法を行なっていきたい。
- *2人に1人ががんになると言われる昨今においてこのテーマは大変勉強になりました。実際に歯科治療に見えている方でもがんの既往のある方や治療中の方がいらっしゃいます。日常の歯科だけでなく広い視野で向き合わなくてはいけないと感じます。入口に立ったばかりですが、今後さらに知識を習得が必要と認識しました。
- *名称が「周術期口腔機能管理」から「周術期等口腔機能管理」に変更され、歯科衛生士は、より多くの疾患への理解とそれぞれの病態に合った対応を学ばなければならないことを実感しました。また、かかりつけ歯科医院での対応としては、知識や技術とともに患者様のバックグラウンドの把握はもちろんです。気持ちに寄り添ったサポートを行い継続的な口腔機能管理が提供できるよう考えていきたいと思っております。
- *紅斑性カンジダや偽膜性カンジダなど日々患者様に接する時に改めて注意しなくてはと思いましたが。また薬剤性顎骨壊死も日々更新し改めていかなければならないと思いました。
- *医科疾患に対する知識、歯科治療と全身との関連する知識は、多職種で連携し、周術期の口腔管理を行う上で重要な知識であると思えました。

第3回生涯研修会

日 時 令和5年1月25日（木）9時から1月29日（日）24時まで
開催方法 オンデマンド
講演時間 60分
演 題 『訪問歯科診療～求められる歯科衛生士～』
講 師 小山歯科医師会 大友歯科医院 大友 文雄先生
参加人数 66名（会員61名 非会員5名）



受講者の感想

- * 高齢の患者さんが多いので在宅、訪問歯科診療の必要性をひしひしと感じています。診療室で完結していた治療が通院不可能で中断、もしくは終了せざるをえなく気になりつつもその後は関わられません。今後も勉強していきたいと思います。
- * 自分自身が、以前に行政サービスとして訪問歯科診療に関わりましたが、昨今の高齢化で益々需要性・必要性が増加しているのではと感じていましたし、講義を拝聴し具体的事例等、良く理解できました。今後、スキルや人間力を活かして訪問歯科に携わる歯科衛生士が増えてくれるとうれしいと感じました。
- * 訪問歯科診療に関する基礎知識から歯科衛生士の必要性まで詳しく、また分かり易くご説明いただきありがとうございます。自分の体験から医科では訪問診療までの流れが速いのに対し、歯科は受けてくださる先生が少なく時間がかかることが多いです。診療所を出て患者の元へ伺うことのハードルが高いように感じています。しかし大友先生の講義を伺うと私たち歯科衛生士も診療所だけに留まっていはいけないと思いました。今後は少しでも在宅などで歯科を待っている患者の元へ伺えるように自分自身も研鑽していきたいと思いました。
- * 私も訪問歯科診療に携わっています。大友先生の症例を交えたお話は、大変参考になりました。在宅や施設で口腔ケアや食支援を必要としている人がたくさんいるので、人生の最後まで、好きな物を少しでも口から食べられるよう支援していきたいと思っています。訪問歯科診療の原則、訪問診療と往診の違いを知ることができました。また、外来と訪問の様々な違いについても知ることができました。受講して多職種連携における歯科の役割、多職種間の情報共有の大切さ、歯科衛生士が口腔のプロフェッショナルであることなどを再認識しました。以前、ホームヘルパーと歯科衛生士としての口腔ケアを行ったことありましたが、多職種との連携や家族様とのコミュニケーションで困難なこともありましたが、今回の研修をうけ参考になることが多く勉強になりました。ありがとうございました。
- * 訪問歯科診療の決まりや保険制度についての詳細はこれまで把握していなかったので大変勉強になりました。高齢化社会が急速に進む中で、訪問歯科診療は今後ますます必要とされてくると思います。訪問時の機材や実際の様子を見せて頂き、イメージがわきました。患者様やご家族の生活・介護状況を十分に把握した上で、実行可能な方法を提案実施して行く。お宅へ伺う心構え、配慮、全身を見る視点、ご家族皆とのコミュニケーションを重要とする。ペットにも受け入れられる訪問者でありたい。訪問時の心構えが大切だ。患者さんのお宅に出向く為、感染源を持ち込まないことや、忘れ物をしないことなど、診療室とは違う注意が必要だと思いました。
- * 現場での活動が更に明確に掴めた。勤務先では、訪問診療に携わっていないので医療保険と介護保険の違いがわかっていませんでした。在宅診療のあり方、多職種連携の必要性など勉強になりました。口から食べたいという思いにこたえられることは専門職としてやりがいがあります。この先、そういう仕事にも関わっていきたいと思います。

栃木県歯科医学会発表

日 時 令和4年11月3日(木・祝)

会 場 栃木県歯科医師会館

開催方法 ハイブリット開催

日光市幼児健康診査における歯科衛生士の活動報告

栃木県歯科衛生士会 日光支部

○福田久美子 渡辺 理恵 我妻 裕子

加藤 陽子 芳野真知子 佐々木涼子

【はじめに】

日光市は、2006年の市町村合併を経て栃木県面積の約4分の1を占める県最大の自治体となった。日光・足尾・藤原・栗山・今市、各地区で行われていた幼児歯科健康診査は、現在は日光・今市地区の2ヶ所に集約され実施されている。

【目的】

日光市の幼児歯科健康診査におけるう蝕有病率は、1歳6か月児健康診査以降、年齢が上がるにつれて増加傾向となっている。この時期は、保護者によるブラッシングや生活習慣など家庭環境が大きな影響を与える。歯科医師の歯科健康診査と併せて歯科衛生士による歯科保健指導を実施している。さらに効果的な指導の実施、行政との連携強化により有病者数を減少させていくため、歯科衛生士会の地域歯科保健活動の取り組みと結果を報告する。

【対象及び取り組み】

2012年度から2021年度までの1歳6か月児、2歳児、3歳児の幼児歯科健康診査の受診者を対象に、歯科医師による歯科健康診査結果及び、「日光市幼児歯科健康診査マニュアル」に基づき、歯科衛生士による歯科保健指導を実施した。

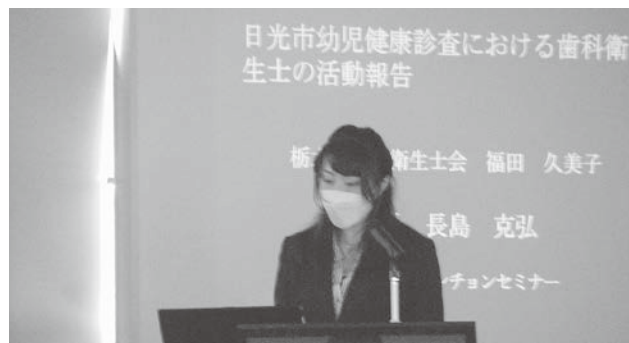
行政と連携し作成した独自の指導媒体を使用し、個々の口腔の状況や家庭環境等を考慮した刷牙指導、望ましいおやつとの与え方など助言指導を行った。また、事前・事後カンファレンス等による情報共有など、多職種での連携のもと当事業を行った。

【結果】

う蝕有病率は、2012年度1歳6か月児2.4%、2歳児5.4%、3歳児24.9%に比べ、2021年度は1歳6か月児0.0%、2歳児2.1%、3歳児14.1%と全ての年齢において減少傾向にある。あわせて、一人平均う蝕数も減少傾向である。

【考察】

う蝕有病率等の減少は、多職種が連携した歯科保健指導により保護者の口腔ケアへの意識が向上したものと考えられる。しかし、栃木県や全国値と比較するとまだ高い状況は続いている。今後も、当会での研鑽を積み、幼児のう蝕有病者数を減らせるよう活動を更に継続していく。



令和4年度 情報交換会

【第1回】 令和4年5月22日（日）9：45～11：30

宇都宮市文化会館第2会議室から Zoom 配信及び会場参加

講 演：栃木県後期高齢者医療広域連合との委託事業

『住民主体の通いの場でのオーラルフレイル事業』

講 師：長谷 規子先生

参加者：83名



感想

*これから必ず必要となるオーラルフレイル予防について、先駆者となって事業して工夫点や注意点、便利なグッズや分かりやすいポスターなどを説明して頂きとても参考になりました。

*フレイルという言葉が浸透していない時から行動されてすごいと思いました。通いの場はカタカナばかりじゃ伝わらない。どういう言葉を使えば高齢者に伝わりやすいのか、事業を行った中でどのような工夫をしたのか、実際の失敗談や改善点などを聞いて参考になりました。

*オーラルフレイルと些細な衰えという言葉と同じくらい使ったとお話があったが、どういう言葉を使えば高齢者に伝わりやすいのか常に考えながら話さなくてはと思った。オーラルフレイルの時点で自身の口腔機能の些細な衰えに気づき頑張れば改善できると希望を持ってもらい、明るく終われるような講話を心がけたいと思いました。



【第2回】 令和4年11月27日（日）9：45～11：30

宇都宮市文化会館第1会議室にて会場参加

講 演：『乳幼児の口の発育と観察のポイント』

講 師：塩谷 裕子先生

参加者：38名



感想

*実習では普段ほとんど意識していなかった自分自身の食べ方を観察し相違点を実感することができた。言葉だけでなくこういった体験があると臨床現場でも食事・食育指導に繋げやすいと感じた。

*乳幼児健診でお母様に良いアドバイスができる知識を得ることが出来ました。今日の実習をお母様たちにも勧めてみたい。実際にやってみると聞くだけでは全く違うように感じました。前歯咬断もあまり意識していませんでしたが、講話を聴いて重要性を認識しました。

*9か月・1歳6か月・2歳・3歳の健診に携わっているので大変参考になりました。「乳幼児健診等での観察のポイント」のスライドで、『児は寝かせると口呼吸をしてしまう』とあり、寝かせ磨きを嫌がる原因の1つだと改めて気付けたので、今後の指導に役立てたいです。



受賞者報告

日本歯科衛生士会会長表彰功労賞を受賞して

宇都宮支部 宇賀神 富子

この度は栃木県歯科衛生士会会長から推薦して頂き、日本歯科衛生士会会長表彰功労賞を授与しました。ご推薦いただきました本会会長並びに役員の皆様我心からお礼申し上げます。

私は卒業後開業医に7年間勤務しました。在職中は同じ学院卒業の先輩方と勉強会を行い、交流を深めながらたいへん意義のある時間を過ごしました。

栃木県歯科衛生士会には昭和63年に入会しました。その時歯科衛生士会の推薦を受け約5年間、栃木県の健康対策課（現在の健康増進課）に初めての歯科保健嘱託員として勤務しました。貴重な経験をさせて頂き広い視野を養うことが出来ました。

平成6年に設立されたとちぎ歯の健康センターには開設当初から勤務し、県民の相談や歯科保健指導に従事するとともに、本会の役員にも携わりました。

その後宇都宮市役所高齢福祉課の嘱託員として高齢者の訪問指導に従事し、他職種との連携の重要性など多くのことを学ぶことが出来ました。

これらの経験した全てのことは私の大切な財産となっています。そしてこれらを成し得たのは歯科衛生士会の皆様のお陰、と深く感謝しています。

超高齢化社会において健康寿命はますます重要なものとなるでしょう。特に口腔の分野を担っている歯科衛生士の役割はさらに大きくなっていくことと思います。今後の皆様のご活躍を期待しております。

最後になりましたが、本会会員の皆様のご今後のご発展とご健勝を祈念しお礼の言葉とさせていただきます。

第62回栃木県公衆衛生大会 保健衛生事業功労者大会長表彰を受けて

小山支部 野上 栄子

令和4年9月13日の大会に於いて、上記の賞を頂きました。この度、ご推薦くださいました本会会長、理事の皆様、小山支部の皆様にご礼申し上げます。歯科衛生士として今後も、少しでもご支援に添えるように活動に参加して行きたいと思っております。

結婚退職後、ブランクを経て、歯科衛生士として歯科医院に復帰すると同時に公衆衛生活動に参加させていただき、現在に至ります。私が参加したとき既に、小山支部は多数の支部会員が多方面で活躍しており、全てを教わりながら、切磋琢磨しながらの出発でした。歯科医院に勤務しながらの活動の為、休診日や日曜日、祭日を利用しての乳幼児健診、介護予防教室、事業所健診等を続けさせていただいております。この活動で得られた知識や、考え方、接し方など全てが臨床での患者さんとのコミュニケーション、指導等の参考とさせて頂いており、欠かせない情報となっております。現在も携わる事ができますのは、本会の皆様や衛生士の仲間の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、本会の更なる発展と会員の皆様のご活躍を祈念して受賞の詞と致します。



保健衛生事業功労賞受賞者



県北支部
奥原 京子
『これからも頑張ります。』



鹿沼支部
福田 志津香
『これからも精一杯
努めて参ります。』



小山支部
椎橋 桂子
『受賞できたこと皆様に
感謝申し上げます。』



足利・佐野支部
柏瀬 典子
『今後も精進して
まいります。』

認定歯科衛生士を取得して 令和4年度歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会を受講して

下都賀支部 両角 恵美

本講習会は歯科衛生士の人材確保を目的として、育児・介護等によって離職していた歯科衛生士の復職支援や、職業人として第一歩を踏み出した新人歯科衛生士に対する基本的な臨床実践能力の獲得と離職防止を推進するために作成された「歯科衛生士復職支援共通ガイドライン」及び「新人歯科衛生士技術支援ガイドライン」に沿って研修事業を実践できる、研修指導者および臨床実地指導者等の人材を育成し、地域における歯科衛生士の指導体制の確保に資することを目標に開催されています。

コロナ禍の為、Google Classroomを使用した事前講義を受講、課題を提出した後にZoomにてリハーサルを行ってからの2日間のオンラインワークショップ形式の研修でした。不安な気持ちでスタートしましたが、日本歯科衛生士会事務局、各グループに配属されるタスクフォースというアドバイスを頂ける先生方のサポートにより無事講習会を終えることができました。

ワークショップとは何か、KJ法、カリキュラム、教育目標・学習方法・教育評価、歯科医療従事者のスタッフトラブル、勤務環境マネジメントなどの講義があり、終了後にグループワークを行いました。事前に5～6名のグループ4班に編成され、各々が司会・発表・資料作成の係を交互に担当し協力し合いながらまとめた課題を各班で発表、検討していきました。

参加者は歯科医院、病院、行政施設、養成校と様々でパソコンの画面越しではありましたが雑談を含めとても貴重な経験をさせて頂きました。自宅で2日間の研修ができたことは働きながら子育てをしている身としては非常に助かりました。同じように参加者からは遠方ではとても参加できなかったとの意見も多く、これからの時代の研修として対面研修の良さもありますが、オンライン研修の需要も高いことを実感致しました。

本研修で学んだことを病院臨床実地指導の際、また復職支援事業などに活かしていきたいと思っています。

日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士を取得して

県北支部 石川 麻美

令和4年度日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士試験を受験して、認定を頂くことが出来ました。今回受験するにあたって、お世話になった院長先生・歯科麻酔科医の先生方・スタッフの皆さんに感謝でいっぱいです。

私の職場では全身麻酔での歯科治療を行っています。歯科医師・歯科麻酔科医とともに歯科衛生士もチーム医療の一員として、治療に携わっています。患者さんの安心・安全のためにももっと知識と技術を付けたくて、認定歯科衛生士の取得を目指していました。

認定歯科衛生士試験を受験するために緊急蘇生の講習会も受講しました。AEDの使い方や、CPR胸骨圧迫・人工呼吸の実習をしたりと、普段歯科医院での勤務でもいざという時に役に立ちそうなものばかりで、今回改めて学べて良かったです。

今後も、口腔内だけでなく患者さんの全身状態にも目を向け、治療を受ける方が安心して受けられるように、チーム医療の一員として勉強を続けていきたいと思っています。

日本口腔腫瘍学会総会・学術大会に参加して

芳賀支部 秋 元 麻 美

令和5年1月26日～2月28日第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会がWEB開催Live and On-demandで開催されました。今回私は「術後化学放射線治療による重度口腔粘膜炎をきたした患者への多職種連携支援」という題名でポスター発表させて頂きました。

口腔癌術後に放射線治療を施行した患者様に対し、私たちは多職種（医師・歯科医師・栄養士・病棟看護師・放射線認定看護師・臨床心理士）でカンファレンスを実施し情報共有・口腔衛生管理を検討・徹底し粘膜炎発生部位に応じた専門的な支援をしています。患者様一人一人に合った口腔衛生管理を継続することは困難を極めますが、歯科衛生士一人ではできないことも多職種で連携することにより治療完遂の一助となり仲間の存在の大切を日々感じています。

少しずつではありますが、新型コロナウイルスも落ち着き始め今までの日常に戻りつつあるので現地開催される学会も多くなってきました。現地で歯科衛生士同士が活発に意見や討論ができるようこれからも積極的に勉強し今後の臨床に活かしていきたいと思えます。

第39回日本障害者歯科学会学術大会に参加して

足利・佐野支部 舟 腰 文 緒

今回のメインテーマは【「いきる」を支援する歯科医療—地域医療と福祉の連携—】でした。「障害者支援に果たす歯科の役割」という教育講演の中で、障害者歯科は障害者支援の一環であり、適切な支援の本質は「患者の置かれている状況、問題の本質を正確に見抜くこと」「様々な支援の仕組みを理解すること」「多彩な支援者たちとのネットワークの構築」の3つで、「障害者歯科の果たすべき役割はこのソーシャルワーク機能を備え発揮出来ること」というお話を聞いて、毎日の臨床の中ではどうなのか？と考えてしまいました。最近では色々な所で多職種連携・多職種協働と言われていますが、実際には経験が少なく、勉強不足で分からないことばかりです。

患者一人一人に寄り添い、歯科が特別なものではなく生活や人生に溶け込めるような支援の在り方を模索していかなければならないと考えさせられました。

第3回とちぎ栄養ケアネットワークで講演をして

宇都宮支部 鈴 木 由 香

人が人らしく生きていく上で欠かすことができない「食べる、話す、呼吸する」など、体の入り口として多くの役割を担っている歯・口腔の健康。歯・口腔の健康を守ることは、全身の健康を守ること。そして、生涯を通して歯・口腔の健康を維持し、おいしく楽しく食事をすることは生活の質の維持向上に最も重要な要素です。

病院や高齢者施設で歯科衛生士はとても重要な役割があります。しかし、病院や施設などで勤務している歯科衛生士は少数派です。口腔ケア・摂食嚥下の重要性の認識は広まってきています。高齢者や入院患者の健康回復やQOLの確保には、口から食べる機能を取り戻し、経口感染を防ぐために、歯科衛生士による口腔ケア・口腔機能の向上がますます必要になっています。今後、歯科衛生士が多職種連携を積極的に行い、オーラルフレイル、口腔機能低下症の概念が広がることで口腔機能の低下の早期発見とともに栄養指導なども含めた早期対応につながることを期待しています。

これから、超高齢者社会を迎え、歯科衛生士が全身の健康づくりのプロとして様々な場面で活躍していけるよう、これからも自己研鑽に努めてまいります。

足利歯科医師会 学術講演会に参加して

足利・佐野支部 尾花 美奈子

令和4年9月に菊谷武先生による「診療室からオーラルフレイルを考える」をテーマにした講演会に参加しました。

講話の中で「患者様の普通に注意」という言葉が印象に残っています。チェアサイドにて患者様からよく「普通に食べてるよ」「普通に使えているよ」などとお聞きしますが、個人によって「普通」は異なります。加齢によって機能が低下していきませんが、気づいた時には進行している事があります。

フレイル予防のために患者様が自分自身で食事形態の変化やオーラルフレイルへの気付きができるようサポートしていきたいと思いました。また足利市では昨年度から後期高齢者歯科健診事業が始まり、私も携わっていますので、菊谷先生のお話を聞いて感銘を受けた所を診療に活かしていきたいと思いました。

小山歯科医師会市民公開講座に参加して

小山支部 関口 智恵子

『スポーツ歯科ってなあに?』近年、学校でのスポーツ活動中による障害事故で、歯牙や眼の障害の頻度が増えているそうです。特に歯牙障害に関しては、マウスガードを装着する事が望ましいそうで、その理由として唇や頬粘膜や舌に対する裂傷の予防・歯牙破折や脱臼及び修復物の保護・そして最も大事なことは、顎関節を保護して命に関わる脳震盪の予防をしてくれることだそうです。外部からの衝撃を吸収してくれるのが重要だとわかりました。今回の講座に参加して、子供たちがスポーツ活動中に怪我なく楽しめるように、歯科衛生士としてサポートしていきたいと思いました。

キシリトールオンラインセミナーに参加して

小山支部 毛塚 由美子

令和4年7月24日、毎年恒例となっているキシリトールマイスターオンラインセミナーに参加しました。今年度はフィンランドのトゥルク大学でキシリトールの研究を行なっているマルヤ・リーサ教授のご講演もあり、最新の情報も学べる興味深い内容でした。キシリトールをう蝕の減少と予防を目的とする全体的戦略の一部に組み込むべきであると。職場でもキシリトール商品を扱っている以上、それらの有効性を正しく理解し積極的に患者さんに活用法を伝えています。ガムを咀嚼することで唾液の生態学的特性とう蝕への対策にもなります。簡単で美味しく毎日の習慣に取り入れやすいキシリトールをこれからも提案していこうと思います。

リレーエッセイ

DHのひとりごと

鹿沼支部 保坂 弥生子

起床・朝食・午前8時前には出勤、8時30分始業。時にはお弁当持ち、午後2時～7時前まで就業、買い物そして帰宅。・・・こんな日々のサイクルを40年以上続けています。

この数年で変わったことといえば、母のセミ介護(?)が始まったことです。要介護1、週3回のデイサービス利用を受けています。火曜日木曜日の昼食とお買い物と一緒に過ごします。そこに通院等のお伴が加わります。通常は母には同居の家族がいますので、食事の用意や入浴介助(見守り)などはおまかせ状態です。ちょっぴり・・・いやかなり気が引けます。私は洗濯物当番です。筋力はかなり落ちていますが、今のところ、自身のことは自立しての生活をしています。母の年齢が上がれば、私たちの年齢もあがります。まもなく老々介護に突入しそうです。耳も遠くなりましたが、会話も弾みます。自身の周りの自己管理もしています。ありがたいと思います。これは喜ぶべきことですよね。

そんな私の楽しみ・ストレス解消は、映画鑑賞と美術展や旅に出かけることです。小学生の頃から海外ドラマと映画が好きでした。現在までかなりの本数を映画館や劇場で鑑賞しています。笑い・涙・怒り・ドキドキ・ショック・ミュージカル・ナイーブな問題・世相・犯罪・政治や歴史等様々なジャンルや感動があり、映画音楽も含めて大好きです。ここしばらくはDVDで観ることも多くなりました。コロナ禍では50本位観ましたね。

また、旅行も好きで日本なら京都!何度行ってもよいですよ。海外にも出かけます。安近短で骨休めもありますが、クリアできていない方面もたくさんありますので、脚に自信があるうちに行きたいです。芸術・美術展は主に絵画・仏像・興味のある企画展に出向きます。そろそろ出かけたくてウズウズしてきました。

まあ、母のことを考えるとあまり遠くへは行けそうにありませんけど…(苦笑)

楽しく、ゆっくりと日々を過ごしながら、旅ができるようもうひと踏ん張り、まだまだ頑張ろうと思います。

DH.のひとり言でした。

地域歯科保健事業の報告

委任状を授与された栃木県歯科衛生士会員が行った地域歯科保健事業
 (延べ実施回数 1331回 延べ歯科衛生士数 1993人)

乳 幼 児 健 診	那須町・大田原市・那須塩原市・さくら市・那珂川町 那須烏山市・矢板市・塩谷町・市貝町・茂木町・日光市 栃木市・野木町・小山市・下野市・佐野市
育 児 教 室・ 相 談	大田原市・さくら市・那珂川町・那須烏山市 塩谷町・栃木市・小山市・佐野市
保 育 園・ 幼 稚 園 指 導	那珂川町・那須烏山市・塩谷町・日光市
フ ッ 素 塗 布 事 業	高根沢町・野木町
学 校 歯 科 保 健 事 業	那須町・大田原市・那須塩原市・さくら市・那須烏山市 矢板市・日光市・上三川町・栃木市・壬生町
介 護 予 防 教 室	那須町・大田原市・那須塩原市・那珂川町・那須烏山市 矢板市・宇都宮市・市貝町・茂木町・日光市・鹿沼市・栃木市 小山市・野木町・佐野市・足利市
成 人 歯 科 健 診 及 び 結 果 説 明	那須町・大田原市・那須烏山市・矢板市・日光市・佐野市
歯 科 医 師 会 協 力 事 業	栃木県後期高齢者歯科健診事業実務者研修会 他
事 業 所 歯 科 健 診	9事業所
そ の 他	在宅医療連携多職種栄養研修会・栃木県歯科保健推進協議会 他

栃木県歯科衛生士会支部紹介

支部長会

日 時：令和4年7月10日（日）9：30～11：30
場 所：とちぎ福祉プラザ 第1研修室
出 席 者：中村・原・大塚・金子・渡辺・東谷・若林・両角・赤間・品田・兼岡
福田・石川・戸井田
神戸（宇都宮）・小野（県北）・大野（小山）・山名（下都賀）・
秋元（芳賀）・保坂（鹿沼）・福田（日光）・神谷（足利・佐野）
塩谷（連盟）

内 容

- * 本会・担当理事からの連絡
- * 各支部からの本会に対しての要望について
- * 令和3年度支部活動報告
- * 令和4年度支部活動計画

支部活動が円滑に運ぶよう、年に1度開催しています。

☆新入会員があった場合は、支部長へ随時連絡いたします。皆様で支部活動へのお誘いをお願いします。



支部長会

県北支部

★支部会員数 22名 ★年会費 2,000円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会 4月22日 Zoom 19時～21時

2月24日 西那須野公民館 19時～21時

◎支部研修会 11月18日 西那須野公民館 19時～21時

内容：障がい者歯科『発達障害～その誤解と医療・教育の課題』

『発達』も『障がい』も誰もが知っている言葉ですが、その言葉の

持つ意味について、その人なりの解釈をしてしまうので発達障害を理解することはとても難しいです。今後、そういった人たちに目を向けて支援できるように考えていきたいと思えます。

★今後、支部でやりたいこと、やってみたいこと

定例会の回数を増やしていき、資質向上のため支部内での勉強会や、他職種との交流会・情報交換会を開催したいです。食事会やレクリエーションも開催し支部会員の親睦も深めていきたいです。

★支部のPR

県北支部は幅広い年齢層の会員が協力し合い、活発に活動しています。会員同士の情報交換、情報共有のできる貴重な場にもなっています。わたし達と一緒に活動して下さる方をお待ちしています。



県北支部会

支部長

小野 信子

新支部長

大金 あゆ子

芳賀支部

★支部会員数 4名 ★年会費 1,000円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会 Zoom

- ・地域歯科保健指導委任状について
- ・各支部の研修会について
- ・事務局とのメール連絡について
- ・災害支援活動について

★今後、支部でやりたいこと、やってみたいこと

コロナ禍が3年も続き我慢を強いられたことがたくさんありました。今年こそ、他支部合同での研修会開催や、高齢者歯科健診事業がスムーズに行えるようにしていきたいです。そのために、個々がスキルアップし成長できるように研修会や勉強会に積極的に参加し充実した1年を過ごしたいと思えます。

★支部のPR

支部会員が増えない現状ではありますが、少人数だからこそ全員参加で支部会が開催され情報共有を行うことができます。芳賀支部と一緒に活動して頂ける方の連絡をお待ちしています。

支部長

秋元 麻美



Zoom 会議



乳幼児健診

宇都宮支部

★支部会員数 49名 ★年会費 500円

★令和4年度の主な活動報告

◎支部総会 5月8日 10時～

令和3年度活動・会計報告・令和4年度活動計画案

◎第1回支部研修会 9月4日 WEB 10時～11時

講師：地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター
横田 由紀先生

演題：栃木県立リハビリテーションセンターにおける
摂食嚥下ケアについて

◎第2回支部研修会 1月29日 とちぎ福祉プラザ第2会議室
10時～11時

講師：アレクシオンファーマ合同会社 藤崎 悟先生
演題：低ホスタファーゼ症について

★今後、支部でやりたいこと、やってみたいこと

会員数が多いため皆さんと顔を合わせる機会がありません。是非、皆さんに参加して頂けるような研修会を企画したいと思っています。

★支部のPR

会員数が多く年齢層も広い支部です。経験豊富な先輩たちが揃っています。いろいろな話を聞くことが出来て、とても勉強になります。

支部長

神戸 睦月

新支部長

渡邊 敦子



第1回研修会



第2回研修会

日光支部

★支部会員数 7名 ★年会費 1,800円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会：6月8月9月10月1月3月

日光市今市コミュニティーセンター
10時～12時 又は 13時～15時

◎親睦会 12月

◎第75回栃木県歯科医学会参加・発表

◎日光市後期高齢者歯科健診事業に関する研修会へ参加

★今後、支部でやりたいこと、やってみたいこと

年々感心が高まっているオーラルフレイル予防啓発事業に従事するにあたり、会員が共有して使用できる媒体作りがしたいです。また、コロナ禍で制限されていた食事会や、研修旅行を再開し、親睦を深めたいです。

★支部のPR

日光支部では幅広い年齢層の会員が多方面で活躍しています。また、乳幼児健診や介護予防教室などの事業を日光市より請け負っています。私たちと一緒に活動して頂ける方をお待ちしております。

支部長

福田 久美子



定例会



慰労会

鹿沼支部

★支部会員数 5名 ★年会費 4,000円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会：4月7月12月2月3月 鹿沼市民情報センター
19時～21時

◎鹿沼歯科医師会との合同地域保健学校歯科委員会

鹿沼歯科医師会事務局 7月

◎歯科保健指導者講習会 webにて 8月

◎鹿沼地区歯科医師警察連絡会・特別講演会参加

福田屋コンベンションホール 11月

◎鹿沼市民公開講座共催

菊沢コミュニティーセンター及 web 12月

★今後、支部でやりたいこと、やってみたいこと

既存の事業における内容や指導の見直しをしていきます。新事業への取り組みと事業に向けての勉強会を考えています。

★支部のPR

鹿沼歯科医師会との連携により「警察連絡会」・「鹿沼地区在宅医療と介護を考える会」等への参加をしています。また「鹿沼市在宅介護高齢者等歯科保健推進事業連絡調整委員会」や「鹿沼市けんこうづくり推進協議会」への委員としての参加もあり、行政・多職種との関りも大きく会に反映していることは大変貴重だと思います。

支部長

保坂 弥生子



鹿沼地区歯科医師警察連絡会特別講演



年度末最終定例会活動奨励授与式

下都賀支部

★支部会員数 13名 ★年会費 1,000円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会：5月7月9月2月 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館
10時～12時

◎研修会 11月 キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 19時～21時

内容：「認知症サポーター養成講座」

栃木市の出前講座より2名の講師を招いて認知症を学び、地域の現状や認知症の種類、支援方法、認知症サポーターができることを学び、日頃の診療所や訪問などに役立つ研修会となりました。



認知症サポーター養成講座



支部長

山名 洋子

★今後、支部でやりたいこと、やってみたいこと

会員拡大が目標です。支部で話し合いを持ち、衛生士のPR誌を配布していこうということになりました。また、広く支部研修会のお知らせをし、多くの方に参加していただける興味のある内容にしていきたいと思います。

★支部のPR

年々支部会員が少なくなりますが、診療所にお勤めの方、病院、衛生士学校、高齢者施設、市に勤務している衛生士も一緒に活動しています。広く衛生士が活躍できる場が増えています。子育て中の方や仕事復帰を考えている方など、気軽に参加していただける会となっています。衛生士の資格を活かしてみませんか？

小山支部

★支部会員数 19名 ★年会費 2,000円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会：4月6月10月12月2月

小山歯科医師会会議室及び Zoom 日曜日 10時～12時

◎支部勉強会 1月 乳幼児健診の資料作り

小山歯科医師会会議室及び Zoom 10時～12時

◎支部研修会 2月26日 小山歯科医師会市民公開講座

下野市役所ホール 10時～12時

講師：日本大学歯学部附属歯科病院 特殊診療部スポーツ歯科
准教授 月村直樹先生

演題：「スポーツ歯科ってなあに？」～子供から大人までマウスガードやお口の健康について～

★今後、支部でやりたこと、やってみたいこと

コロナ禍で乳幼児健診の集団指導が出来なくなったので、配布資料を作り直して対応出来るようにしました。他事業ではパワーポイントの使用も増えているので勉強会や、忘新年会の開催も検討中です。



小山市フッ素塗布事業

★支部のPR

定例会は Zoom も併用し毎回多くの方が参加し賑やかに開催しています（子連れOKです）。お仕事の依頼も多いので普段の仕事と掛け持ちで皆さんパワフルに活動しています。情報交換（雑談）だけでもお気軽にどうぞ。

足利佐野支部

★支部会員数 22名 ★年会費 1,000円

★令和4年度の主な活動報告

◎定例会 4月7月2月3月 Zoom 19時半～21時

◎後期高齢者歯科健診スタッフと足利歯科医師会合同研修 9月

◎支部研修会 12月 『後期高齢者歯科健診について』

会員が講師となり、参加者には時間を指定して来所してもらい、密にならないよう感染対策をし、オーラルフレイル・健診の概要・問診・機器の取扱いの研修を行いました。

★今後、支部でやりたこと、やってみたいこと

足利市では、食支援について行政主体の市民向けの普及啓発事業が始まります。これに備えて会員同士での勉強も必要と考えています。多職種と交流する機会が増える為、情報交換をして職種間の理解を深めていきたいと思えます。

★支部のPR

令和4年度会員が2名増えました。年齢層も幅広く、いろんな分野で活躍しています。情報を共有し、一緒に知識を深めていきませんか？コロナ禍で中止になっていた事業が復活しています。初心に帰って新たな気持ちで臨みたいです。

支部長

神谷 祐子



後期高齢者健診研修会



支部研修会

栃木県歯科衛生士会 令和5年度

【役員】

会長	中村 美智子				
副会長	原 瑞穂	大塚 則子			
理事	総務	金子 ひとみ(会計)	渡辺 理恵	永木 穂菜美	
	学術	若林 宣江	両角 恵美	赤間 多恵子	
	地域	品田 ゆかり	兼岡 涼子	福田 志津香	
	広報	石川 麻美	戸井田 紀子		
監事	長谷 規子	星野 小百合			
顧問	林 幸子				

日本歯科衛生士会	代議員	中村 美智子
	選挙管理委員	大塚 則子

【災害担当】

災害歯科保健業務調整（ロジスティック）歯科衛生士	長谷 規子	
災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士	原 瑞穂	大塚 則子

支部災害担当

県北	品田 ゆかり	石川 麻美		
日光	渡辺 理恵	加藤 陽子		
宇都宮	兼岡 涼子	戸井田 紀子	神戸 睦月	
芳賀	秋元 麻美			
下都賀	若林 宣江	両角 恵美	山名 洋子	鳩山 恭子
鹿沼	木村 明子	福田 志津香		
小山	金子 ひとみ	永木 穂菜美	関口 智恵子	
足利・佐野	中村 美智子	赤間 多恵子	神谷 祐子	塩谷 裕子

栃木県歯科衛生士会への連絡・問い合わせ

HP <https://tochigi.jdha.or.jp/> E-mail tochigi@jdha.or.jp

住所 〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2-5 栃木県歯科医師会館内

電話 028-647-2084 FAX 028-666-0623

- ・事務局員不在の場合は、留守番電話又はFAXにてメッセージを残してください。もしくは上記メールに送信して頂いても構いません。後日、連絡いたします。
- ・支部会への見学、詳細につきましては、事務局へご連絡ください。

ご 案 内

栃木県歯科医師会歯科衛生士無料職業紹介所をご存じですか？

もう一度、歯科衛生士の資格を活かしてみませんか！

お気軽に当紹介所にお問い合わせください。



住所 〒 320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2-5

電話 028-648-7000

H P <https://tochigi-da.or.jp>

お問い合わせ：月曜日～金曜日 9：00～17：00

《 編 集 後 記 》

令和4年度は『ウイズコロナ』ということで、新型コロナウイルス感染症との付き合い方も多様化し、人と人との新たなつながり方を感じた1年でした。

学会や研修会、情報交換会も少しずつ会場開催が増え、以前のように会員の皆様にお会いできて、お顔を見て話が出来たことは大変うれしい出来事でした。

支部活動や地域歯科保健活動がお忙しい中、原稿依頼を快く引き受けてくださった皆様には、心より感謝申し上げます。

*ご意見・ご感想等を事務局へメール・FAX などでお寄せください。

原稿の持ち込み等も募集しております。

広報 石川・戸井田

信^わ頼の環・Best of Partner として



このあどけない子供たちの眼に映る
豊かな未来を実現するために……。

私たちアマガイは、
次世代サイズで医療環境を考え、
望まれる最新鋭の歯科器材と
最大限の気配りをお届けする
ホットラインとして
貢献してまいります。

AMAGAI
<http://www.amagai.co.jp/>



株式
会社

歯科器材の総合商社
アマガイ

〈宇都宮オフィス〉〒321-0925 栃木県宇都宮市東築瀬 1-30-8
TEL.028-637-8611/FAX.028-637-8666
〈水戸オフィス〉〒311-4143 茨城県水戸市大塚町 1863-118
TEL.029-253-2555/FAX.029-253-2556
〈さいたまオフィス〉〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉 5-4-21
TEL.048-797-7762/FAX.048-797-7785



Good Teeth, Better Life

歯科医療のトータルサポートカンパニー

HENRY SCHEIN®

J●East ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地 37-6	TEL:028-613-5858	厚木支店	厚木市酒井 2087-14	TEL:046-228-5550
水戸支店	水戸市白梅 2-8-18	TEL:029-225-6543	大宮支店	さいたま市見沼区東大宮 7-41-1	TEL:048-688-1740
松戸支店	松戸市幸谷 1504-4	TEL:047-345-3131	盛岡支店	盛岡市本宮 6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
千葉支店	千葉市中央区浜野町 879-1	TEL:043-305-1182	東大和支店	東大和市立野 3-640-1	TEL:042-590-5770
上野支店	台東区台東 2-23-7	TEL:03-3832-8241	つくば営業所	つくば市花室 940-6	TEL:029-863-0720
古河支店	古河市下山町 9-60	TEL:0280-30-1582	仙台支店	仙台市若林区荒井 5-7-6	TEL:022-794-7066
福島支店	福島市鎌田字卸町 4-1	TEL:024-552-1161	新潟支店	新潟市中央区出来島1-1-19	TEL:025-283-2500
世田谷支店	世田谷区玉川台 2-11-17-101	TEL:03-5491-7595	上越営業所	上越市下門前17-1-1F-A	TEL:025-531-2203
練馬営業所	練馬区豊玉北 4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180	長岡営業所	長岡市南七日町79-15	TEL:0258-21-0727
横浜支店	横浜市磯子区中原 2-1-19 1F	TEL:045-770-4182	長野営業所	長野市真島町川合335-1-1F-A	TEL:026-291-1201
前橋支店	高崎市京目町 176-2	TEL:027-350-8241			



**NEW ERA
NEW
NORMAL**

歯科医療現場をトータル的にサポートする
Dental general trading company

株式会社ハギノヤは、歯科商材の販売から開業、メンテナンスまで、歯科医療現場をトータル的にサポートする歯科総合商社です。1937年創立以来、お客様との対話を大切にし、臨床で望まれる様々なニーズを的確にとらえ、素早く、そして柔軟なサービスを心掛けております。

「笑顔でいきいきと暮らす」

口腔ケアで心身の健康を維持するために、歯科医療に携わる皆様と患者様の健やかな毎日を願って、

株式会社ハギノヤは安全で安心な商品と良質なサービスをご提供いたします。

hd
Haginoya

株式会社 ハギノヤ

〒328-0034 栃木県栃木市本町18-30
TEL0282-22-1466 FAX0282-23-8853

<http://www.haginoya.co.jp>
Mail:sika-haginoya@cc9.ne.jp



医薬部外品



お口のトータルケアに

ヒノーラ 薬用ハミガキ 口腔ケア用ジェル

抗菌・抗炎症成分配合



販売名 大塚口腔ジェルN
販売名 大塚口腔ジェルS
容量 25g

抗菌成分：ヒノキチオール 殺菌成分：IPMP®
抗炎症成分：グリチルリチン酸ジカルシウム
※イソプロピルメチルフェノール

口腔化粧品



お口にうるおいを与える

ヒノーラ うるおいジェル



販売名 大塚口腔ジェルWN
販売名 大塚口腔ジェルWS
容量 80g

製造販売元
日本ゼトック株式会社
東京都新宿区西新宿1-26-2

発売元
イーエヌ大塚製薬株式会社
岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田町2-9

販売提携
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

お問い合わせ先
イーエヌ大塚製薬株式会社 コールセンター
☎ 0120-014-010

<'20.08作成>

有効成分ヒノキチオールを含む口腔ケア用ジェル



はちみつ風味
90g/30g

ライム風味
90g/30g

りんご風味
90g/30g

保湿成分配合*
※ヒアルロン酸ナトリウム(2)等

薬用 口腔ケア用ジェル リフレケア

研磨剤 発泡剤 エタノール
無配合

医薬部外品 口腔ケア用ジェルハミガキ

90g 希望小売価格 2,420円(税込)
30g 希望小売価格 1,210円(税込)

効果
効果
・口臭の防止
・歯肉炎、歯周炎の予防
・むし歯を防ぐ
・口中を浄化する
・口中を爽快にする

特長

- ・有効成分ヒノキチオールが口臭を防ぎ、歯周病(歯肉炎・歯周炎)を予防します
- ・3つの無配合(研磨剤・発泡剤・エタノール)でやさしい使いごこちです
- ・湿潤剤を配合したのびのよいジェルでブラッシングも容易です
- ・はちみつ・ライム・りんごの3種類から好みに合わせて選べます
- ・スクイズボトル(大容量90g)・ポンプボトル(30g)それぞれ用途にあわせてお選びいただけます

ミスト状のジェルで、
お口うるおう。



口腔ケア用スプレー

リフレケア ミスト

口腔化粧品

50mL

リフレケアミスト ライム風味
希望小売価格 1,650円(税込)

水とリフレケアミストの
粘度比較
ミスト状のジェルが、口腔内のすみ
ずみまで付着するので乾きを
うるおすチカラが長続きします。

お問い合わせ先：
イーエヌ大塚製薬株式会社

☎ 0120-11-4327

(受付時間：9時から17時 土・日・祝日・弊社休日を除く)

製造販売元 イーエヌ大塚製薬株式会社 岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5

販売者 雪印ビーンスターク株式会社 札幌市東区苗穂町6-1-1

発行日	令和5年10月発行
発行者	栃木県歯科衛生士会 会 長 中 村 美智子
印刷所	株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷 ☎ 028 (662) 2511

